平成２８年１１月１０日　No.５１

総合学習センターだより

発行：相模原市立総合学習センター
〒252-0239 相模原市中央区中央３丁目 12 番 10 号
ＴＥＬ０４２（７５６）３４４３
ＦＡＸ０４２（７５８）８１４６
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.sagamihara-kng.ed.jp

かわる　教育研究発表会　開催報告

平成２８年８月２３日（火）に、相模原市教育研究発表会を開催しました。午前は「深める」午後は「広げる」というテーマを設定し、市民会館など周辺５会場で１０の分科会を行いました。暑い中、１，３６０人の参加があり、盛況のうちに会を終えることができました。

すべての発表が子どもたちの健やかな成長をめざし積極的に取り組まれた研究・研修の成果や、教育実践の報告でした。発表をもとに協議を行う中で、様々な教育分野の方々が交流し合い、お互いの役割や活動を理解し、連携を深める場、協力を広げる場となりました。

参加者の声

◆分科会Ⅰ　～深める～

午前の分科会Ⅰでは「輝く子どもの姿をめざした授業づくり」「共通のビジョンで子どもをはぐくむ組織の力」などをテーマに発表が行われました。

- 地域の想いを子どもに感じさせることが大切だと感じました。自校で生かせる具体的な事例を学ぶことができて、たいへん良かったです。
- 協議や意見交換の時間が多く、異なる考えに触れることができて良かったです。また、意見交換の中で、自分自身の考えも深まって大変良い機会になりました。
- 大学や幼稚園で研修や研究を受けた先生方の具体的な取り組み例、成果を知る機会が増えるのは良いと思いました。短時間で盛りだくさんの内容を聞くことができました。来年度も一日参加したいと思いました。
- 学校の危機管理について改めて見直すことができました。管理職だけで対応するのは難しく、私たち職員一人ひとりが「危機に強い学校づくり」をめざしていかなければならないと感じました。

◆分科会Ⅱ　～広げる～

午後の分科会Ⅱでは「家庭に寄り添う子育て支援」「地域性を活かした子どもの育成」などをテーマに発表が行われました。

- 市民として拝聴しましたが、現在子育てしている身として、とても勉強になりました。家族で協議して子育てをもう一度頑張りたいと思いました。
- 幼・保・小連携について、幼稚園・保育園の取り組みや小学校への接続などを考えることができました。自分の園でも参考にしていきたいです。
- 宇宙教育センターの学校支援活動は大変興味深かったです。２学期から使える実践例であったので、とてもためになりました。相模原の宝ともいえるＪＡＸＡとのつながりを大切にしていってください。
- 普段、社会教育関係の方と接点をもてる機会は少ないので、今日発表を聞けて、行政、ＮＰＯはじめ、学校以外の団体の方々が、子どもたちの健やかな育成のために活動されていることがよくわかりました。

研究機関等公開講座　～市内の研究機関等と連携し、各所の専門性を生かした講座を開催しています～

「外務省研修所」コース

８月１０日（水）に開催した「外務省研修所」コースでは、前米国特命全権公使で、中国にも長く勤務されていた泉裕泰研修所長に、日本・アメリカ・中国関係の現在について解説していただきました。講演後、受講者からの質疑も多岐にわたる中、一つ一つ丁寧に回答していただき、大変内容の濃い講座となりました。

「国民生活センター」コース

１０月１３日（木）に開催された「国民生活センター」コースでは、浦川有希総務課長に最新の消費生活相談情報について講演していただきました。その後、実験映像の解説を受け、商品テストや施設の見学を行いました。多くの受講者が、職員に熱心に質問される姿が見受けられ「学んだことを家族や友人にも伝えたい」と好評でした。

「宇宙航空研究開発機構」コース　開催決定！

来年２月２５日（土）に市立博物館で**「宇宙航空研究開発機構」コース**の講座を開催することが決定しました。SLIM プロジェクトマネージャーの坂井真一郎氏に、月面着陸の技術開発について講演をしていただく予定です。

学社連携・協働の動き　第3回　学校と地域の協働推進コーディネーター研修会

１０月１７日（月）に各校の担当教諭にも出席していただき、総合学習センター福川裕史教育指導員を講師に、第３回学校と地域の協働推進コーディネーター研修会を開催しました。はじめに講師から「柔らかく繋ぎ　長くつなぐ　学校と地域の協働事業」というテーマで、社会の変化に伴って変わった学校教育や昨年まで校長として勤務されていた学校での具体的な事例について講義がありました。教職員が多忙な中で、地域の方がサポート隊やロボットクラブにかかわってくださるようになったいきさつは、繋ぐ「きっかけ」を模索している参加者にとってたいへん興味のある内容でした。

その後、３つのグループに分かれて、講義を聞いての感想やそれぞれの活動状況、悩み、疑問点等、活発に意見交換が行われました。講師からは、学校と地域が協働するためのポイントとして「互恵性（学校と地域がお互いに恵み合う関係）」「楽しみながら」「無理をしないで継続する」ことが大切であるとアドバイスがありました。参加者から「他校の方々と情報交換ができてよかった」「これからの取り組みに向けてたくさんの気付きがあった。一つ一つ評価・修正しながら活動を進めていきたい」等の感想があり、今後の活動に生かせる充実した研修会となりました。

プログラミング的思考の育成のために
～　ＩＣＴ機器活用スキルアップ研修講座　プログラミング　～

本年度、総合学習センターでは教職員向けの研修として「プログラミングの講座」を３回実施しました。

中学校では、既に技術科で必修化されているプログラミング教育ですが、現在検討されている次期学習指導要領では、小学校、高等学校ともに必修化されるとして話題になっています。目的は、物事を論理的に捉え、考えられるようになる「プログラミング的思考」を育てることです。

子どもたちに充実したプログラミングの授業を行えるヒントを先生方に提供できるよう、来年度以降も継続していきたいと考えています。

＜受講者の感想＞（一部紹介）

- プログラミングが必修となった際、解決していかなければならないことは多いと思います。個人的にはとても楽しく参加できたので、積極的に学習に取り入れていきたいと思います。
- 今後、この課題を取り入れるにあたり、どのような場面で活用できるかを考えていきたいです。

目の不自由な人のパソコン体験講座を開催しました！

１０月２２日（土）、目の不自由な人とそのご家族を対象にパソコンの音声ソフトを使ったインターネットの読み上げの体験や、図書ＣＤ読み上げ機器の操作体験を、障害者・高齢者パソコンボランティア団体「パラボラ相模原」の協力のもと行いました。

今後も、パソコンやスマートフォン、図書ＣＤ読み上げ機器等を使って、その利便性や活用方法などを紹介していきます。

次回の講座は平成２９年２月下旬を予定しています。パソコン初心者の人も、お気軽にお申込みください。

ネットパトロールだより

http://www.sagamihara-kng.ed.jp/newpage4-8.htm

総合学習センターでは、インターネットや情報機器等に関する最新の情報、諸問題などについてお知らせする「ネットパトロールだより」を毎月発行しています。第８０号では、自身のインターネットの利用について振り返ることができるように「ネット依存傾向のチェックリスト」を掲載しています。

ネット依存については最近社会問題になりつつあり、子どもも大人も共通の課題といえます。ぜひ、ネットパトロールだよりをご活用ください。

インターネットに関する様々な取り組みを紹介していきます。**情報の提供をお待ちしています。**

第８期

さがみはらの未来をひらく教育考房

さがみ風っ子教師塾

チャレンジコース！ ～相模原の先生をめざして～

１０月１日（土）開講！

「相模原で教師になりたい」という大学生や社会人など５９名が入塾しました。３月までの６か月間教師塾での実践的な学びをとおして、教師として必要な力を身に付けていってほしいと願っています。

☆午前中は、開講式後に的川泰宣塾長の講話、午後は、玉川大学の難波克己教授による演習を行いました。

スキルアップコース！ ～さらに教師力アップ～

８月からスタートしたスキルアップコースでは、自ら「学びたい」「高めたい」と情熱をもった現職の教師９名が学びを深めています。

第３回【天体への興味を高め、授業での生かし方を学ぶ】

プラネタリウムや望遠鏡を使用した天体観察の講義を聞き、天体への興味・関心を高めるとともに、授業での生かし方について学びました。

第４回【スポーツに携わる方々の考え方を学ぶ】

「ノジマ相模原 RISE」の練習や試合の見学、スタッフとしての体験をとおして、人材育成の手法や、チームの一員としての役割等について学びました。

☆スキルアップコースでは、様々な人と出会い、ものと出会い、環境と出会い、これまでと違った視点をもつことで、学校の教育活動によりよい形でつながることをめざしています。

さがみはら教育

Ｎｏ.１６１を発行します

「さがみはら教育」は、総合学習センターが発行している教育情報誌です。今年度から年１回１２月に発行予定です。本号では「アクティブ・ラーニングを探る～資質・能力をはぐくむ授業づくり～」をテーマとして、文部科学省の田村学視学官、東京大学の齋藤萌木特任助教授よりアクティブ・ラーニングについて示唆していただいています。

また、アクティブ・ラーニングについての教員の意識調査や各学校で実践している取り組みなどについても紹介します。総合学習センターや行政資料コーナー等で販売します。

関東地区教育研究所連盟

第 88 回研究発表大会・相模原大会

１０月７日（金）、総合学習センターを会場として、関東地区教育研究所連盟第８８回研究発表大会が開催されました。

当日は、関東甲信越の各機関から８０名近くの参加がありました。

本市からは「就学移行支援について―就学前の子どもの支援を小学校に伝える取り組みについて―」をテーマに、陽光園発達障害支援センター宇田川真美副主幹が就学移行支援にかかわる具体的な支援の取り組みについて発表しました。